
2024年5月期（第44期） 決算説明

2024年8月22日



1：グループ概要

2：2024年5月期 業績報告

3：2025年5月期 業績予想と今後の展望

4：トピックス

1：グループ概要

2：2024年5月期 業績報告

3：2025年5月期 業績予想と今後の展望

4：トピックス

“ステキな大人が増える未来をつくる”



子どもたちの学びを支える

個別指導 子ども 褒めて伸ばす 人間力

京進の中学・高校受験 **TOPE** 京進の大学受験 **TOPE**

京進の小学校受験 **ふれわん** 京進の個別指導 **スクールワン**



育児や暮らしを支える

子ども 介護 配食サービス

HOPPA 京進の高齢者住宅 **ライフパートナー**

いこ和 **リッチ** **もぐもぐ**

京進のサービス **ゆうそら** 京進のサービス **ゆうそら** 京進のサービス **ゆうそら** 京進のサービス **ゆうそら**



ライフキャリアや就業を支える

資格取得 就労支援

京進の資格取得 **これがら...** 京進の資格取得 **これがら...**

日本語教師 保育士

京進の外国人材就業支援 **ミツケル**

にほんのしごと



語学学習や留学を支える

留学 国際交流 日本語学校

京進の英会話 **UNIVERSAL CAMPUS** 京進の日本語学校 **KLA**

COPER ENGLISH 京進の海外進学準備校 **UNSW Foundation Studies Program**

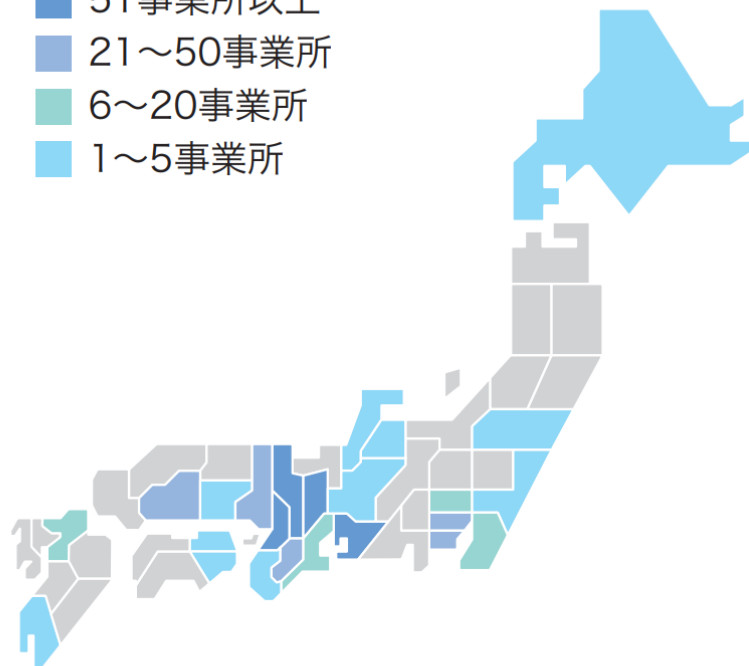
English Language Company **ELC** 京進の海外進学準備校

セグメント		サービス名
<p>学習塾事業</p>	<p>幼児～高校生までの学習塾</p>	<p>     </p>
<p>語学関連事業</p>	<p> 幼児～成人向けの英会話 外国人留学生のための日本語学校 日本国内の事業者向けの外国人材の紹介 </p>	<p>        </p>
<p>保育・介護事業</p>	<p> 認可保育園・認可外保育園 サービス付き高齢者住宅 デイサービス、訪問介護 給食・配食 </p>	<p>               </p>

京進グループ事業所数 全495拠点

京進グループの事業所(国内)

- 51事業所以上
- 21～50事業所
- 6～20事業所
- 1～5事業所



京進グループ会社 全22社

海外子会社・関連会社【6社】

- Kyoshin GmbH(ドイツ デュッセルドルフ)
- Kyoshin USA, Inc.(アメリカ ニューヨーク)
- 広州京進語言技能信息咨询有限公司(中国 広東省)
- English Language Company Australia Pty Ltd.
- ELC Career College Pty Ltd.(オーストラリア)
- KYOSHIN JETC CO., LTD.(ミャンマー ヤンゴン)

英会話事業【1社】

- 株式会社 コペル・インターナショナル

日本語教育事業【4社】

- 株式会社 オー・エル・ジェイ
- 株式会社 京進ランゲージアカデミー
- 株式会社 アイ・シー・シー
- 株式会社 ダイナミック・ビジネス・カレッジ

保育事業【3社】

- 株式会社 HOPPA
- ビーフェア株式会社
- 株式会社 HOPPA三鷹

介護事業【4社】

- シンセリティグループ株式会社
- 株式会社 エメラルドの郷
- ユアスマイル株式会社
- 株式会社 優空

フードサービス事業【2社】

- 株式会社 もぐもぐ
- 株式会社 リッチ

その他 子会社【2社】

- 株式会社 五葉出版
- 株式会社 アルファビート

(2024年5月末現在)

1 : グループ概要

2 : 2024年5月期 業績報告

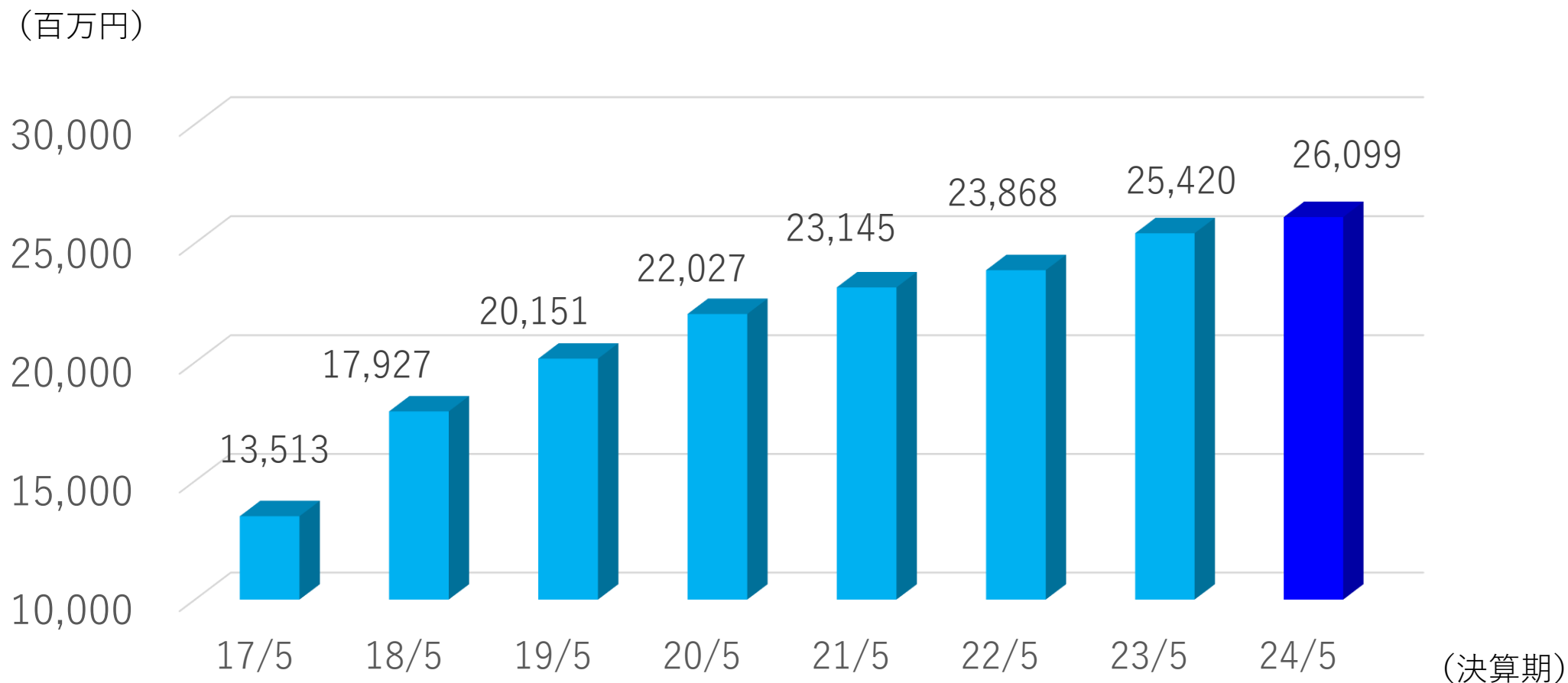
3 : 2025年5月期 業績予想と今後の展望

4 : トピックス

(百万円)

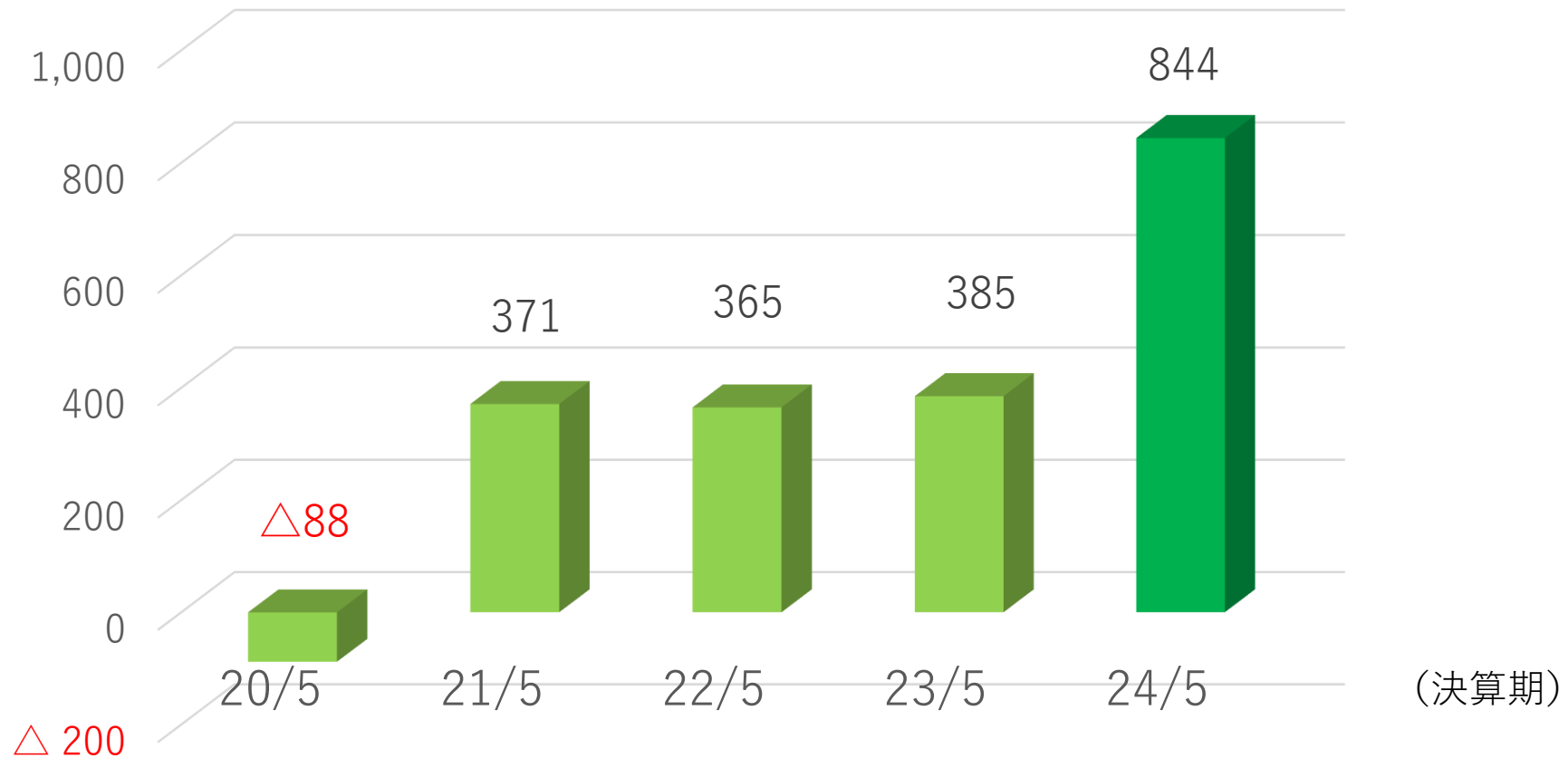
	2023/5期	2024/5期	前年比	増減額
売上高	25,420	26,099	102.7%	+679
営業利益	470	873	185.4%	+402
経常利益	385	844	219.1%	+459
親会社株主に帰属する 当期純利益	△316	505	—	+821

売上高は、11期連続で増収 8期連続で最高売上高を更新

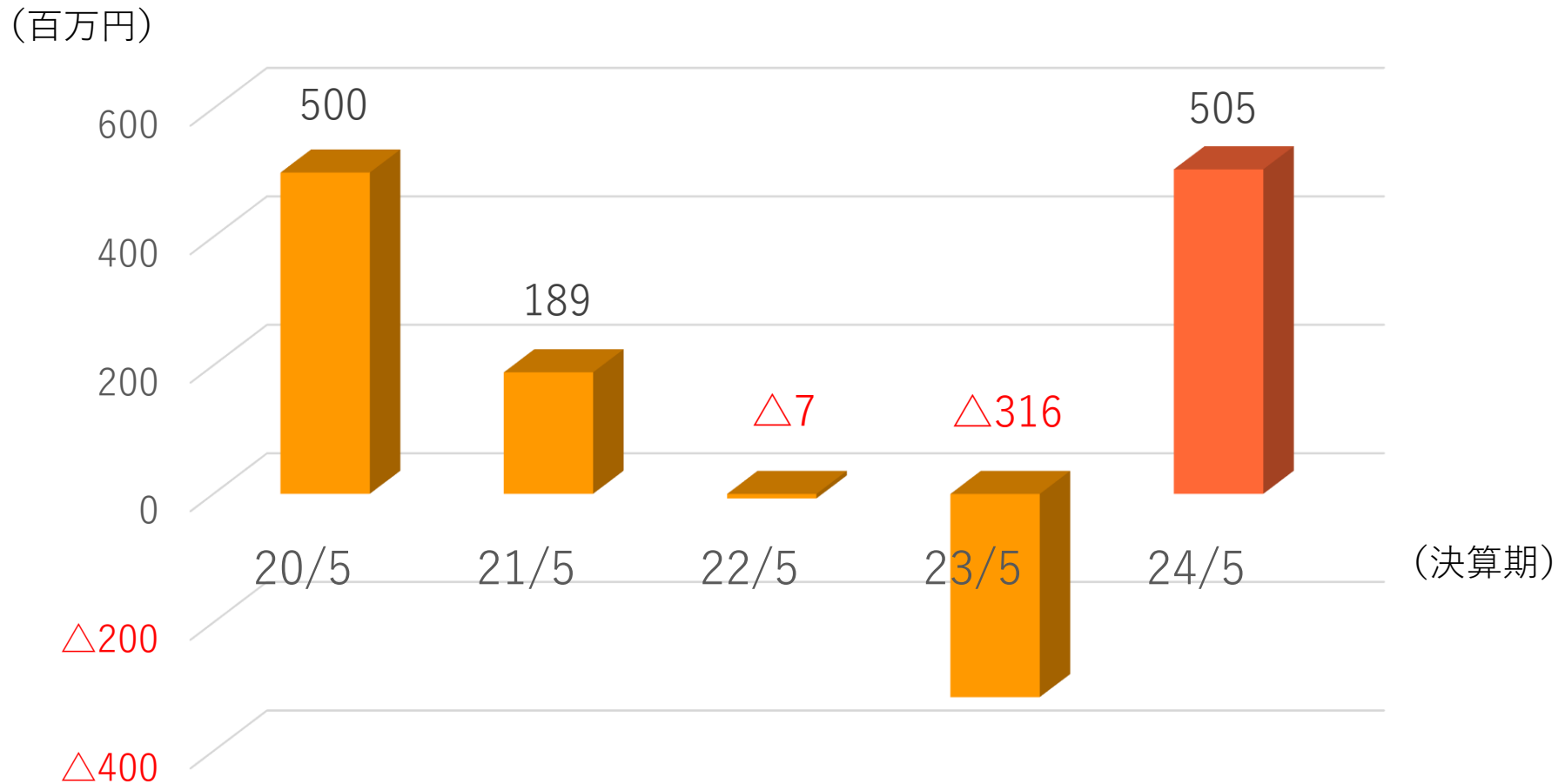


前年に比べ4億5900万円増加

(百万円)



創業以来過去最高利益を更新



●保育事業

保育園の園児数増加による売上の増加

保育補助金の引上げの影響から売上の増加

採用コストの抑制、職員の適正配置による運営の効率化

●介護事業

各施設の入居者・入居率が増加

●法人税の減少

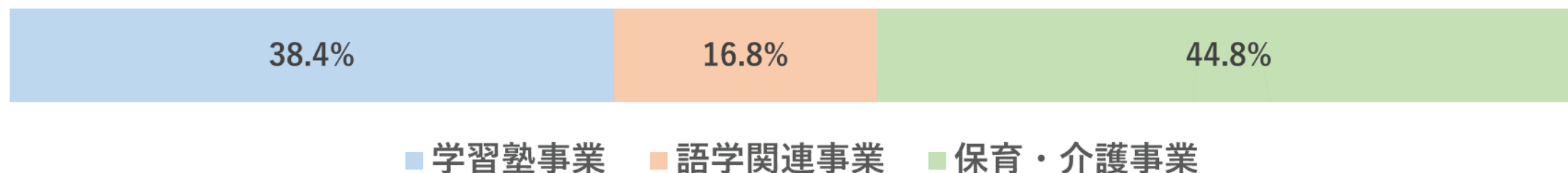
清算終了した子会社に対する貸倒引当金等を法人税法上損金算入した

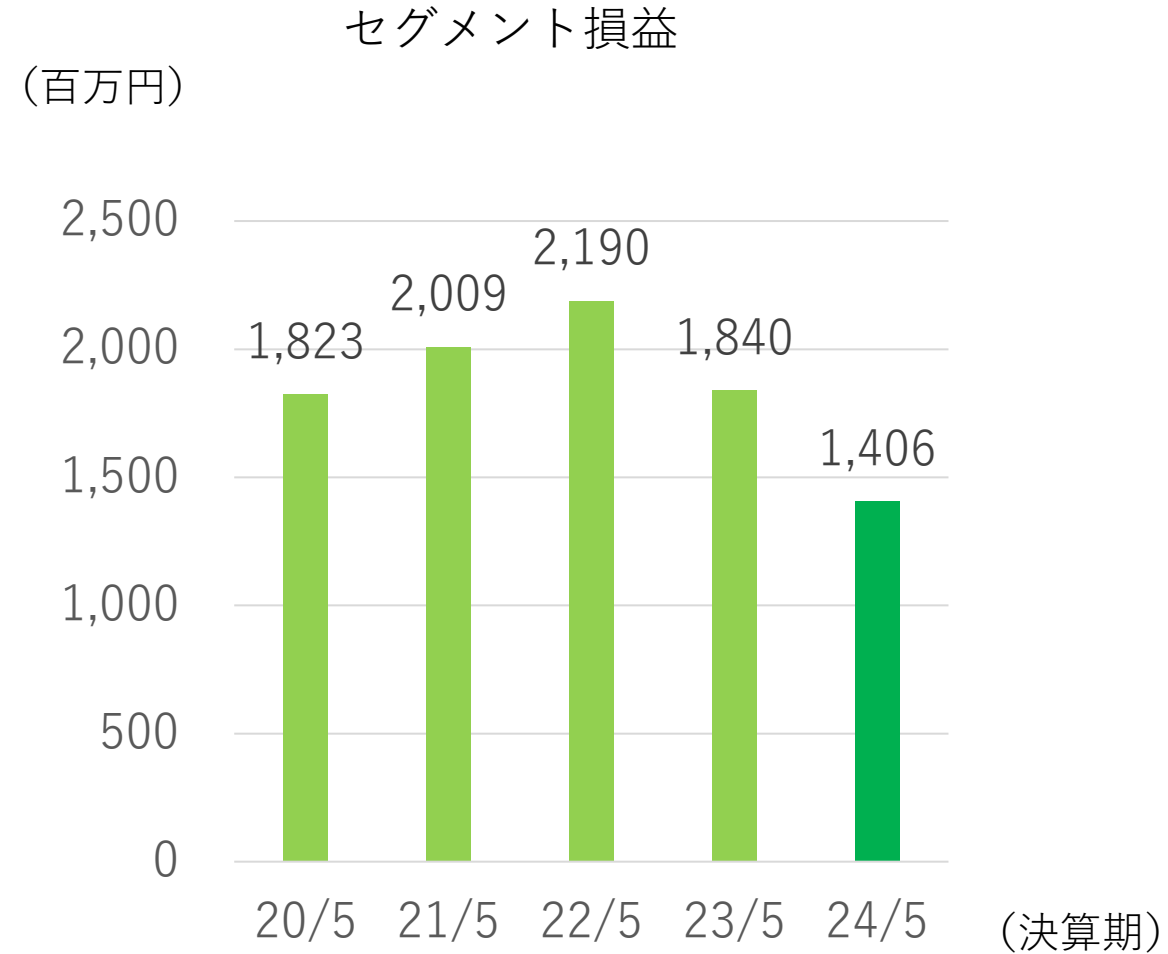
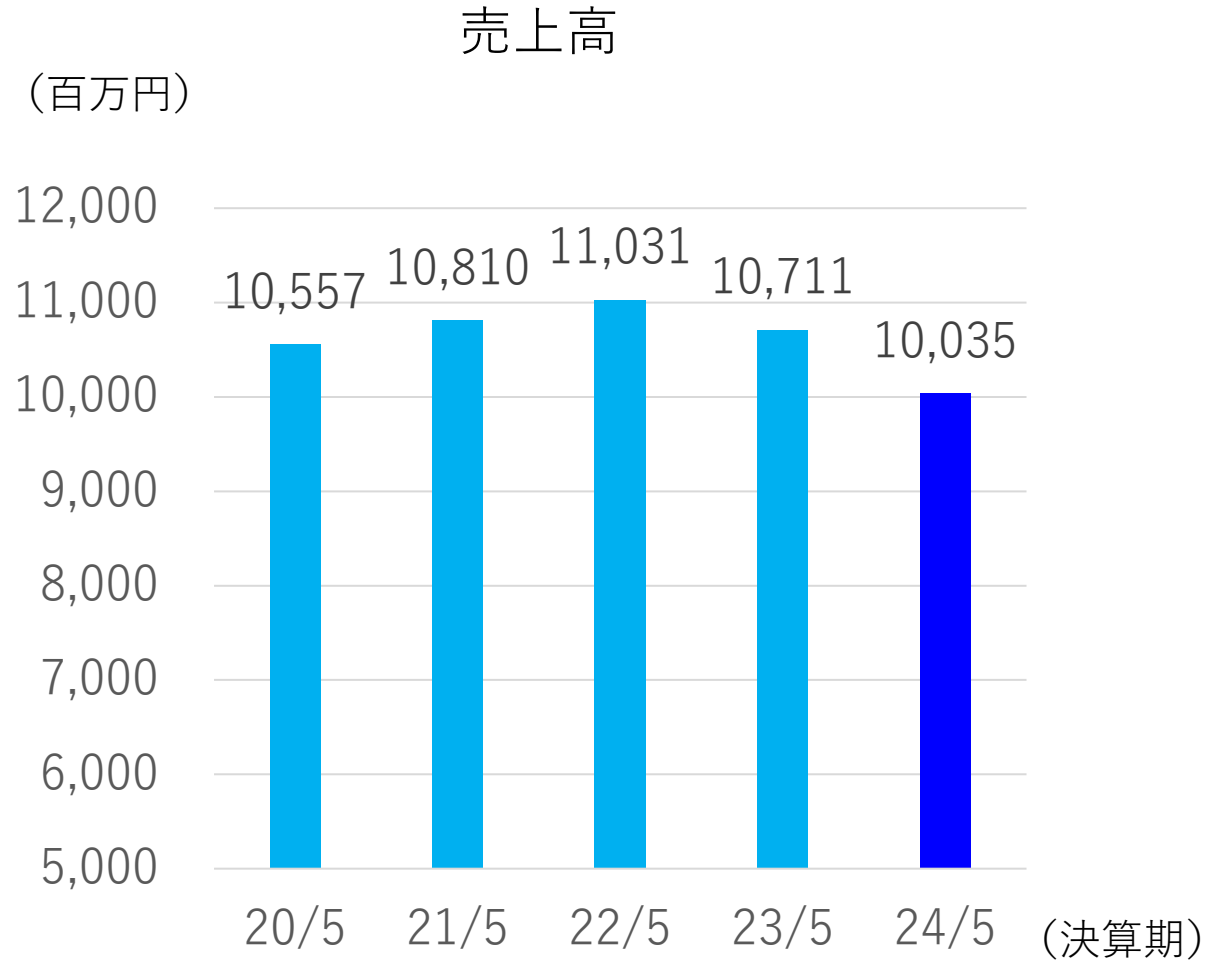
ことにより法人税が減少

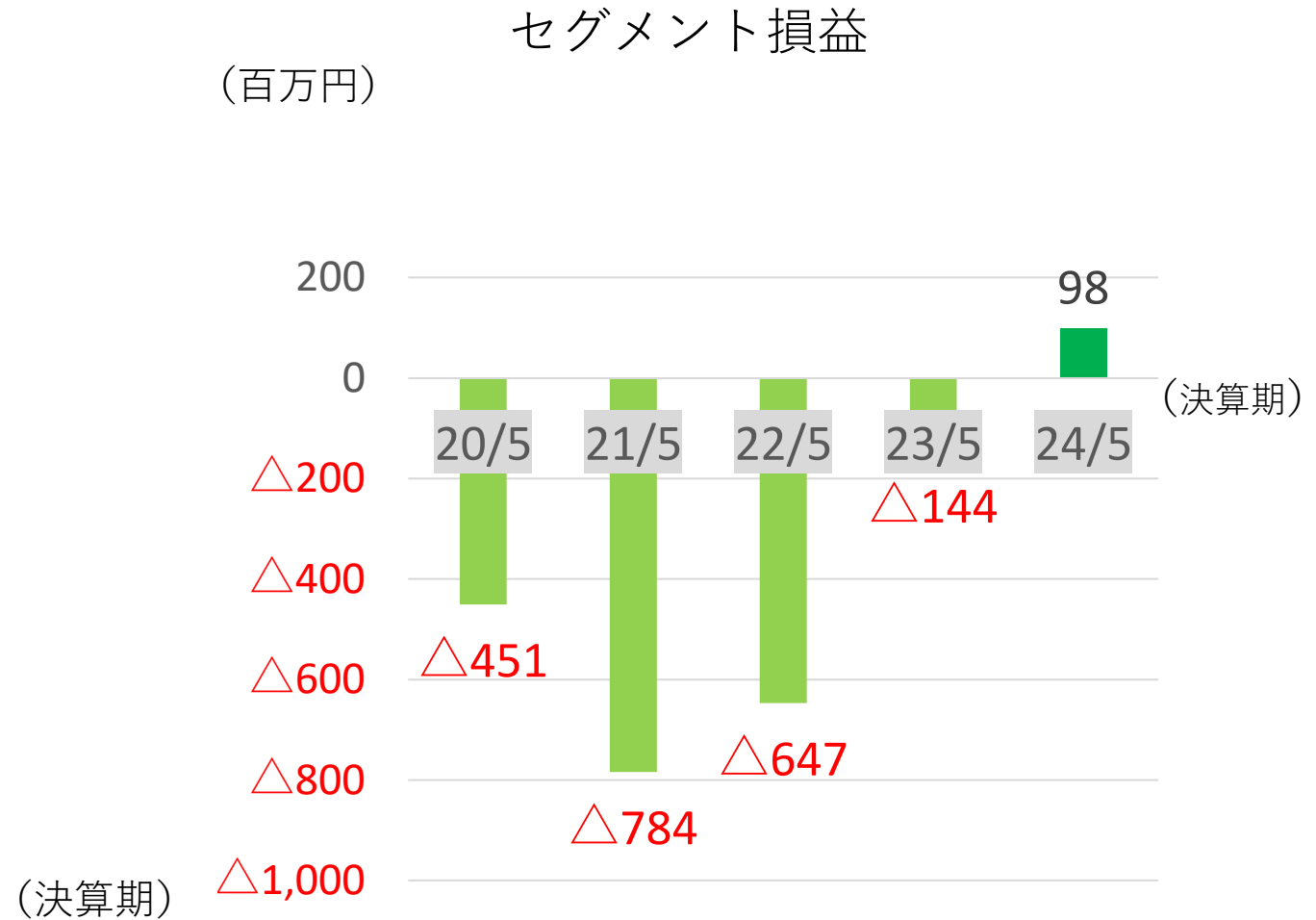
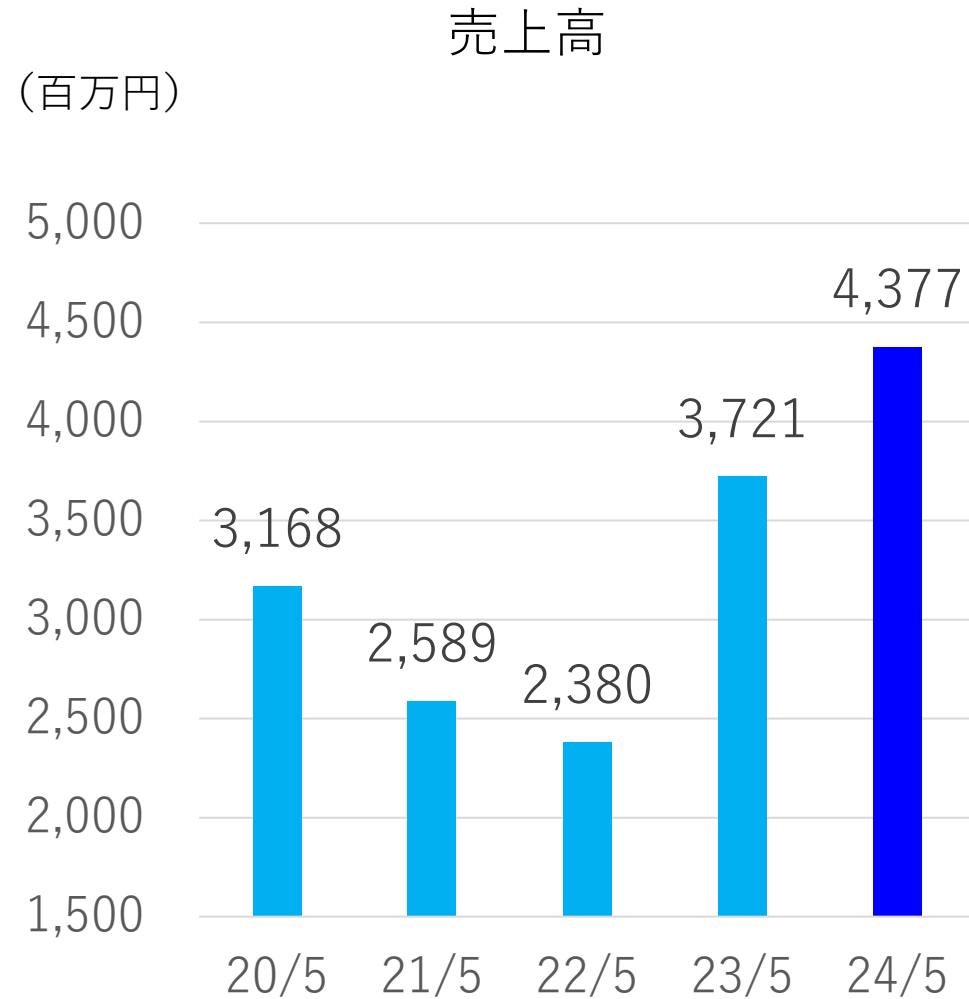
(百万円)

セグメント	売上高	前年比	セグメント利益	前年比
学習塾事業	10,035	93.7%	1,406	76.5%
語学関連事業	4,377	117.6%	98	242百万円 改善
保育・介護事業	11,686	106.4%	834	230.8%

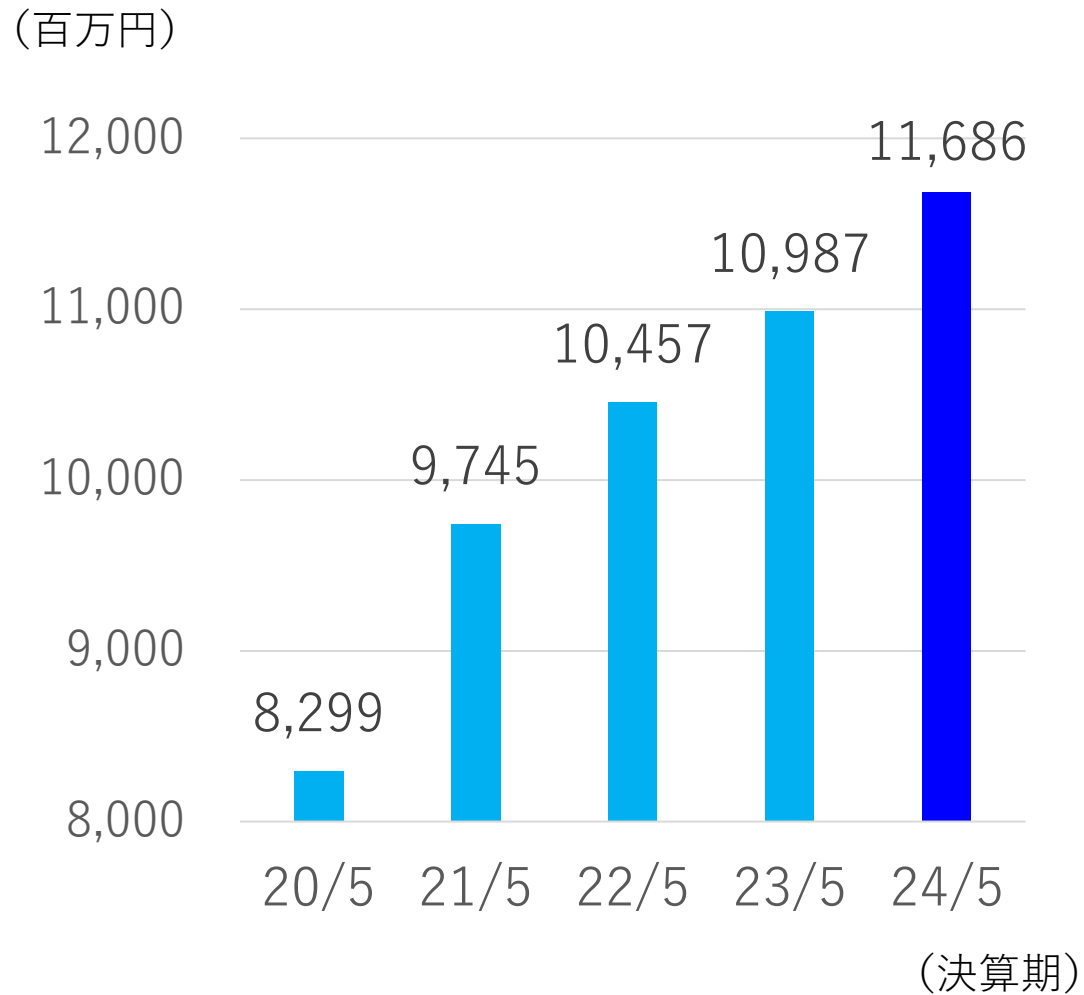
(売上構成比)



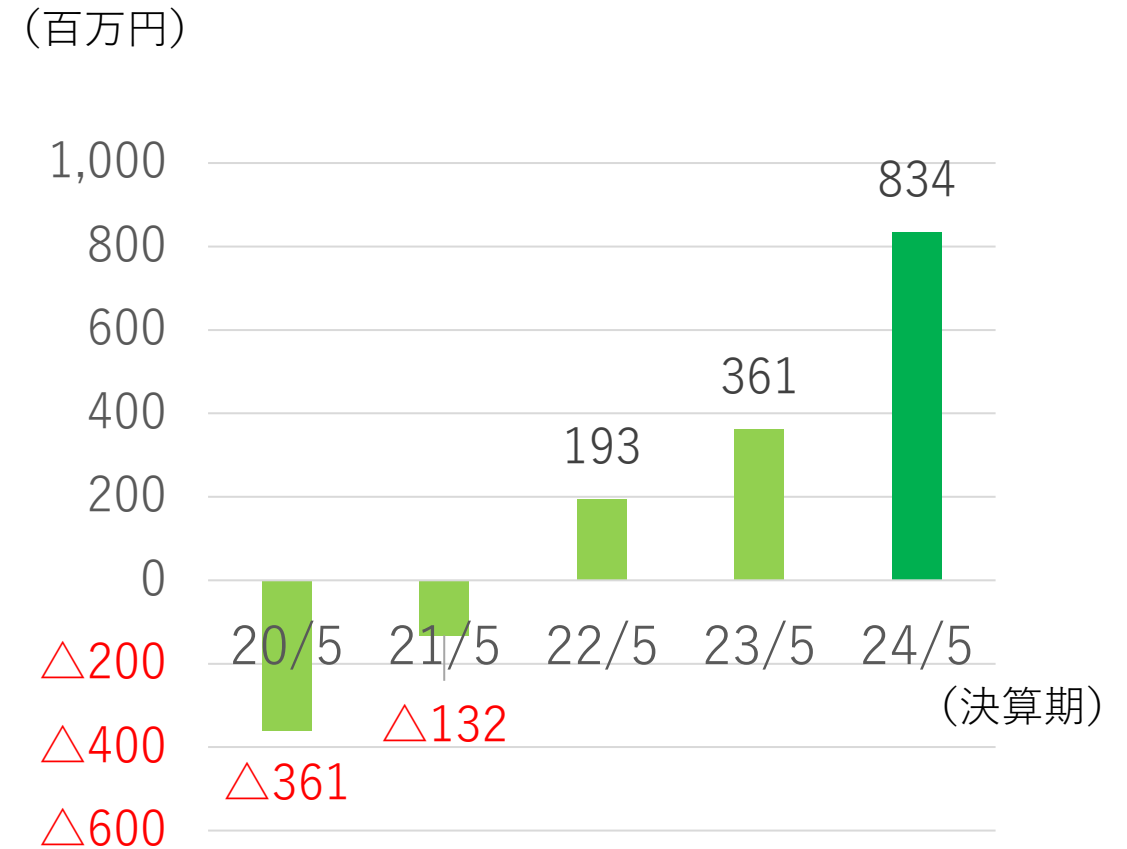




売上高

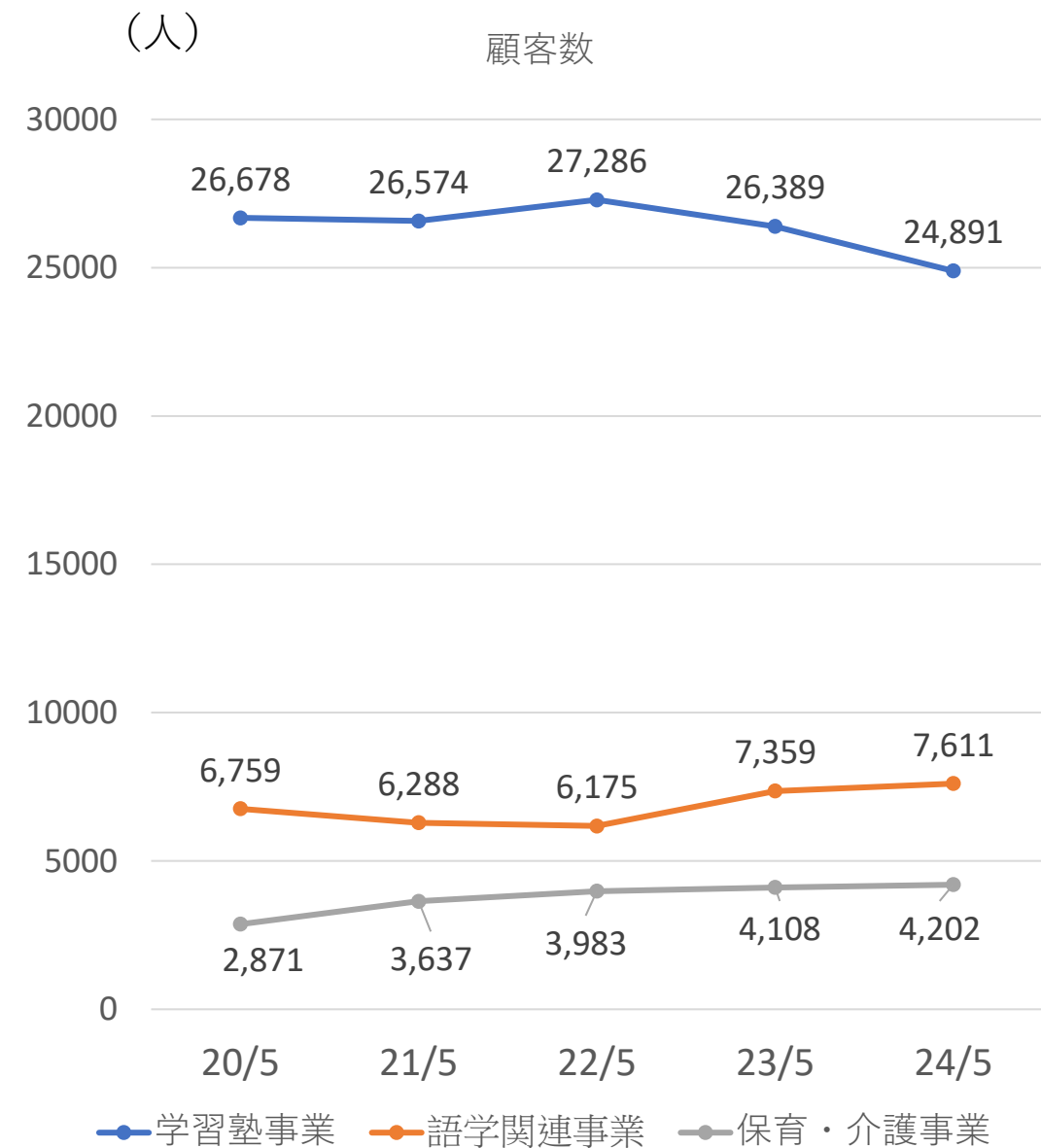


セグメント損益



■セグメント別顧客数

	顧客数	前年比
学習塾事業	24,891	94.3%
語学関連事業	7,611	103.4%
保育・介護事業	4,202	102.3%



(百万円)

売上高の増減要因		増減額	前年比
学習塾事業	マーケット縮小 季節講習、新学期の入会数が前年に及ばず生徒数減	▲676	93.7%
語学関連事業	コロナ後、国内の日本語学校・オーストラリアの語学学校の生徒数増加	+ 656	117.6%
保育・介護事業	保育事業の園児数増加、補助金収入の増加 介護事業の入居率、入居者数増加	+ 699	106.4%
利益の増減要因		増減額	前年比
学習塾事業	生徒数減の減収による減益	▲433	76.5%
語学関連事業	生徒数増の増収と キャリア支援関連子会社の清算完了による増益	+ 242	—
保育・介護事業	顧客増の増収と固定費抑制等による増益	+ 472	230.8%

1 : グループ概要

2 : 2024年5月期 業績報告

3 : 2025年5月期 業績予想と今後の展望

4 : トピックス

▼2024-26年度 中期経営計画 重点課題▼

- ・ 収益性の向上
- ・ 人材育成
- ・ グローバルな事業展開
- ・ 新規事業の立ち上げ
- ・ 独自性の追求

課題	特に取り組むセグメント	対応
収益性の向上	全事業	<ul style="list-style-type: none"> ・少数精鋭での運営により1人当たり事業部利益向上 ・社員満足度向上による離職率の低減
	学習塾	<ul style="list-style-type: none"> ・再投資を行うとともに立地的に抜本的改革 ・人口増加地域への出店拡大
	語学関連	日本語学校・英会話において質の向上と量的拡大を実現
	保育・介護	〔保育〕
〔介護〕		ニーズに合わせた積極的な出店によるシェア拡大を行う
人材育成	全事業	成長の三本柱（リーチング・アメーバ経営・顧客価値経営）での人材育成
グローバルな事業展開	語学関連	海外の語学学校および専門学校の展開
新規事業の立ち上げ	全事業	世の中のニーズをとらえた新規事業開発
独自性の追求	全事業	「見えない学び」を重視する京進らしいサービス提供

■ 学習塾事業

市場環境

学齢人口の減少

教育のICT化
AIなど新しい技術の出現



当社戦略

人口動態に合わせた出店地域の再編

多様なニーズに対応した学びの提供
効率的な学びの提供

■ 学習塾の統廃合による効率化

人口動態に合わせた出店地域の見直し・拠点の統廃合

例) 京都 人口増加地区の桂川

吉祥院・榎原・洛西⇒桂川に集約



■株式会社コノセルと業務提携

AIと個別指導の融合

ハイブリッド学習塾「コノ塾」と共同で実験運営

AI技術の可能性について研究



■ 語学関連事業

市場環境

グローバル化により
英語話者や英語学習ニーズの増加

日本国内の外国人留学生の増加

国内の労働人口減少
特定技能制度の法改正



当社戦略

オーストラリアの語学学校の拡大へ

日本語学校の定員増

国際人材交流事業の拡大へ

■国際人材交流事業

海外からの特定技能人材を日本企業へ紹介
採用までワンストップでサポート

外国人紹介の流れ



■インド 国家公社傘下の人材派遣機関と 戦略的パートナーシップ締結

インド国家公社傘下のNSDCI社と
介護分野の特定技能人材紹介事業の連携強化



■保育・介護事業

市場環境

全国で保育園の淘汰が進む
保育士不足

高齢者向けサービス需要の拡大
介護人材の不足



当社戦略

特徴ある保育園の運営で
選ばれる保育園づくり

介護施設の積極拡大
待遇改善等魅力ある職場づくり

■保育事業における知育・英語・プログラミング

イングリッシュタイムなど

特徴ある保育を行い、選ばれる保育園へ

教育成果の見える化



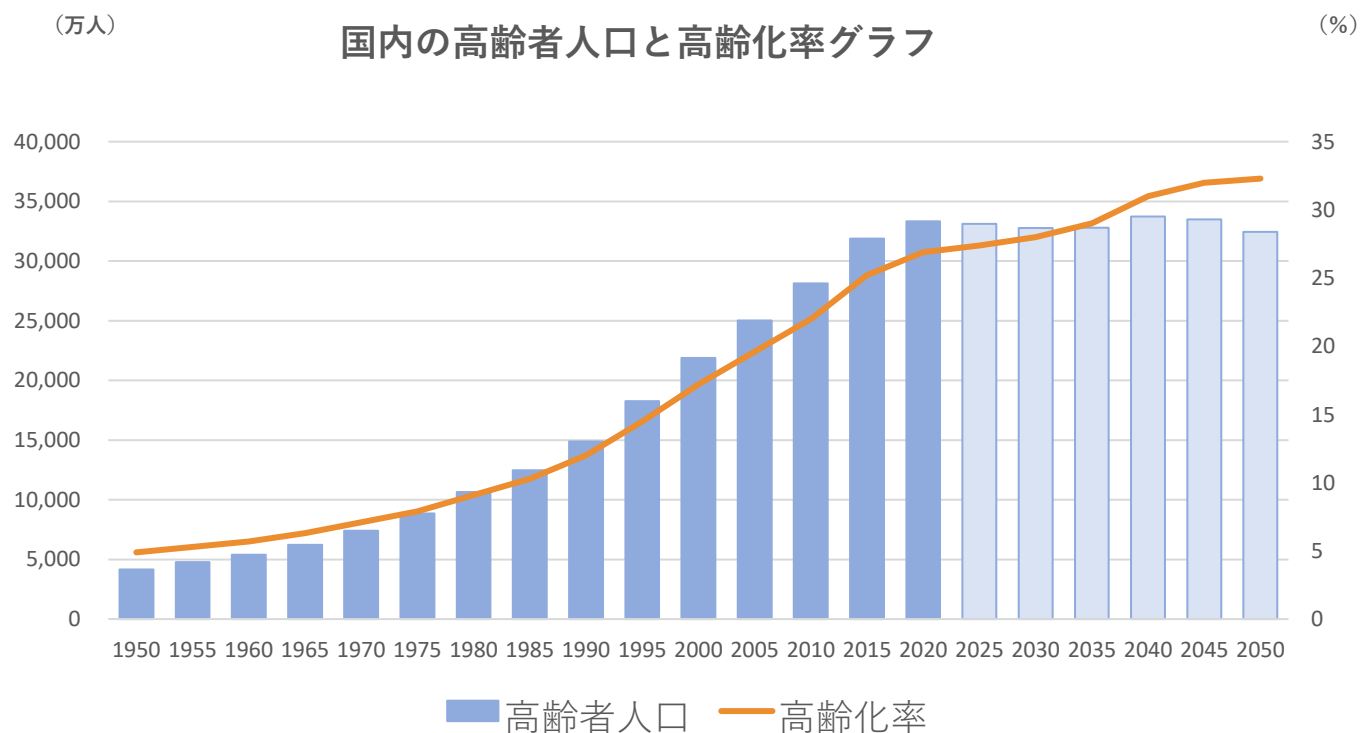
2024年度 上半期		2024年度 下半期	2024年度 全年度	2023年度 上半期	2023年度 下半期	2023年度 全年度
人数	15	7	15	9	8	19
人数	15	7	15	9	8	19
達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
達成率	13.0%	6.5%	13.5%	8.4%	8.8%	14.1%
達成率	91%	84%	88%	84%	91%	88%

■ 教育成果の見える化 詳細

- 英語学習
 - 子ども達に英語の楽しさを伝えることで、英語学習のモチベーションを高めています。
 - 英語学習の楽しさを伝えることで、英語学習のモチベーションを高めています。
- 知育学習
 - 子ども達に知育の楽しさを伝えることで、知育学習のモチベーションを高めています。
 - 知育学習の楽しさを伝えることで、知育学習のモチベーションを高めています。
- プログラミング学習
 - 子ども達にプログラミングの楽しさを伝えることで、プログラミング学習のモチベーションを高めています。
 - プログラミング学習の楽しさを伝えることで、プログラミング学習のモチベーションを高めています。

■ 介護事業

高齢化⇒介護施設の新規開設を積極拡大



2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、
2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」



顧客数の状況 （2024年7月末現在）

■ **学習塾事業** : **微減**



- ・マーケット人口の減少
- ・物価高の影響による入会時期の先送り等

■ **語学関連事業** : **前年並**



- ・国内英会話は減少、海外英会話は増加
- ・日本語学校は前年比増加予定

■ **保育・介護事業** : **微増**



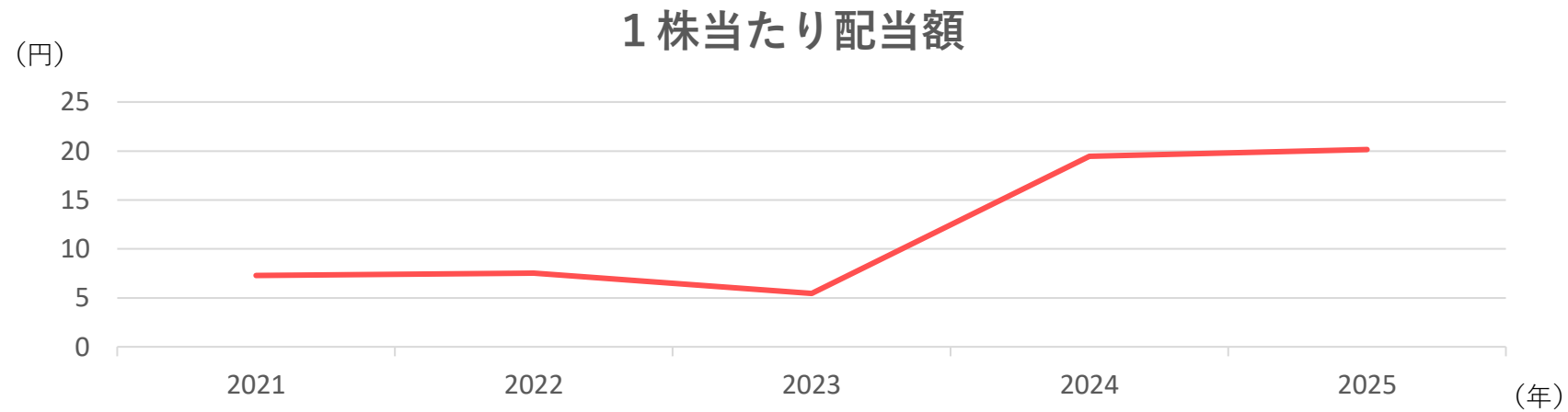
- ・保育・介護事業ともに堅調

(百万円)

経営成績	2024/5期	2025/5期予想	前年比
売上高	26,099	26,140	100.2%
学習塾事業	10,035	9,985	99.5%
語学関連事業	4,377	4,659	106.4%
保育・介護事業	11,686	11,488	98.3%
営業利益	873	904	103.7%
経常利益	844	875	103.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	505	522	103.4%

※様々な要因により予想とは異なる結果になる可能性があることをご了承ください。

【株主還元方針】 親会社株主に帰属する当期純利益を元に **配当性向30%**



	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期 (予想)
一株当たり配当金	7.30円	7.54円	5.47円	19.46円	20.14円

1：グループ概要

2：2024年5月期 業績報告

3：2025年5月期 業績予想と今後の展望

4：トピックス

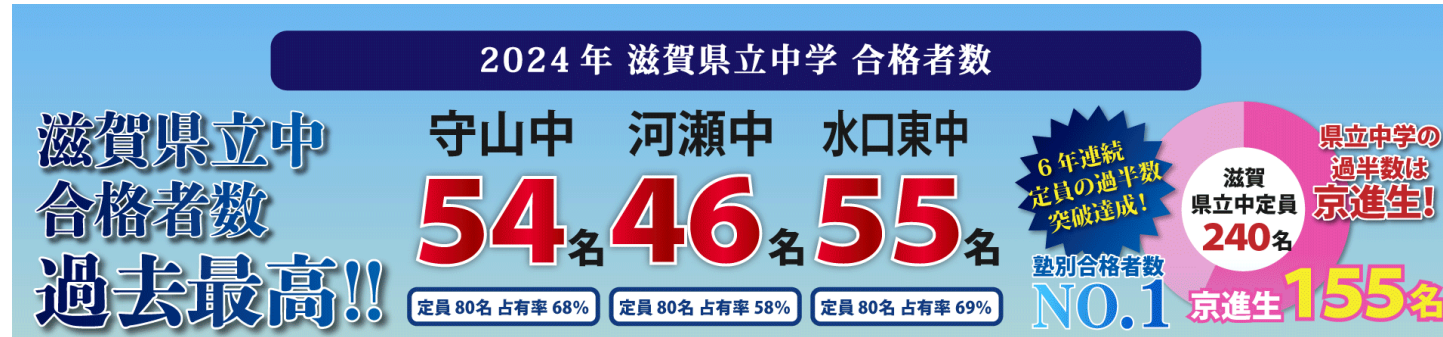
■2024年大学入試

国公立大学合格実績 過去最高を更新



■2024年中学・高校入試

滋賀県立中学No.1、京都公立中高一貫校No.1



■ 〔英会話〕 英オックスフォード大学出版局との連携強化



■ 〔グローバル教育〕 駐日オーストラリア大使の視察訪問を受けました



■産官学連携プロジェクトに参画

豊中市／北おおさか信用金庫／

学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 と共同プロジェクト

「とよなか暮らし・子育て輝き No.1プロジェクト研究」





ステキな大人が増える未来をつくる